

Table with columns for 事務事業名, 政策体系, 根拠法令, 所属, 実施計画, 総計, 予算科目, 期間, 事務事業区分, 事務事業の概要, 全体計画. Includes details for '一般国道107号期成同盟会事業等' and financial data.

1 現状把握の部(DO)

Table for (1) 事務事業の目的と指標. Includes sub-sections for ① 手段, ② 対象, ③ 意図, ④ 結果, ⑤ 活動指標, ⑥ 対象指標, ⑦ 成果指標.

(2) 総事業費・指標等の推移

Table showing the trend of total project costs and indicators from 2022 to 2027. Columns include 年度, 単位, and specific cost/indicator items.

事務事業ID	事務事業名	一般国道107号期成同盟会事業等に関連する事務
--------	-------	-------------------------

<b>(3) 事務事業の環境変化・住民意見等</b>	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 平成28年度「物流等の円滑を図る道路ネットワーク検討会」を立ち上げ、大船渡港の更なる発展、内陸との交通の利便性向上などを旨とし、内陸を結ぶルートを検討を行い、国道107号権現堂交差点～宮守IC間の整備を要望することを決定し、以降、各年度において県への要望を実施した。 令和3年6月岩手県新広域道路交通計画が公表され、国道107号を一般広域道路、(仮称)大船渡内陸道路を構想路線に位置付けられ、令和4年度に国道107号白石峠区間の事業化が決定したことを受け、令和4年5月「一般国道107号(大船渡・遠野間)整備促進並びに(仮称)大船渡内陸道路高規格化実現期成同盟会」に設立し、本事務事業を開始した。	
② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)は、開始時期あるいは前期基本計画策定時と比べてどう変わったのか？ 国道107号は沿線住民の生活を支えるだけではなく、岩手県内の重要港湾のうち大船渡港と岩手県内陸部を結ぶ基幹的な路線であり、重要物流道路の代替・補完道路としての機能を有するのみでなく、地域連携や多様な交流促進による自立的な社会形成を図る上で重要な路線である。 この路線は、大船渡港を発着点とする国際フェリーコンテナ定期航路の利用促進に資する貨物輸送線であるほか、国際リアコライダー(ILC)の実現の折には、施設設備に係る資機材や研究機器の大船渡港からの搬送で利用が見込まれることから、国道107号白石峠区間の早期着工及び荷沢峠の未改良区間の早期事業化を進められることが求められている。	
③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか？ 毎年、市議会各会派等から、国道107号の改良要望が提出されているとともに、期成同盟会会員からも、生活や医療の向上、地域産業の発展のため、早期整備の要望が寄せられている。	

2 評価の部(SEE) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は当市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ▼ 理由・内容 国道107号が改良されることで、交通・港湾物流ネットワークの充実につながり、潤いに満ちた快適な都市環境の創造に結びつく。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を当市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ▼ 理由・内容 国道107号の早期整備・(仮称)大船渡内陸道路の高規格化を目指し、関係機関等と連携し、継続して要望していく必要があり、妥当である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ▼ 理由・内容 国道107号が整備されることにより、利用者は短時間で、かつ安全・安心、快適に移動できるようになるので適切である。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ▼ 理由・内容 白石峠区間の早期着工、荷沢峠区間の早期事業化等を要望することで、岩手県内陸部への移動時間が大幅に短縮できる。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がない <input checked="" type="checkbox"/> 影響がある ▼ 理由・内容 国(県)の事業を支援する市内部の担当部署がなくなり、諸問題の調整、解決に時間がかかる。また、関係機関等との連絡、調整が困難となる。
効率性 評価	⑥ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ▼ 理由・内容 国(県)が事業主体で進めている事業であって、市としては事業の円滑な推進を要望、支援している立場にあり、統廃合の余地がない。
	⑦ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ▼ 理由・内容 業務の内容は関係機関等との調整が大半であり、委託業務に適さないことはもとより、正職員での対応が必要である。現在、建設課との兼務により事務を対応しており、削減余地はない。
公平性 評価	⑧ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ▼ 理由・内容 令和4年度に設立、令和5年度から会員市町の負担金により運営を開始したところであり、当面の間、総会等の運営費として活用するため、事業内容の偏りはない。

3 今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 改革改善の方向性	(2) 改革・改善による期待成果	(3) 改革改善を実現する上で解決すべき課題とその解決策又は特記事項等 現状維持で継続して事業を実施する。																							
1 現状維持	<table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td>●</td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持		●	×	低下		×	×	
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上																								
	維持		●	×																					
	低下		×	×																					
※(1)改革改善を実施した場合に期待できる成果について該当欄に「●」を記入。 (現状維持の場合、コスト及び成果は「維持」) (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																									

4 課長等意見

(1) 今後の方向性	(2) 全体総括・今後の改革改善の内容
1 現状維持	目的の実現のため、引き続き、国及び県への要望活動を行いながら現状維持で継続して着実に事業を実施していく。